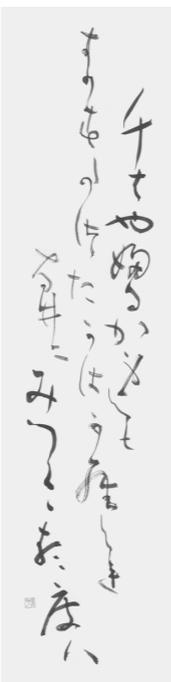


(助教以下の部)



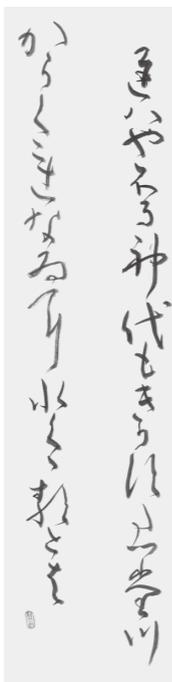
潤濁がきいて線質もよし。

白井映雪



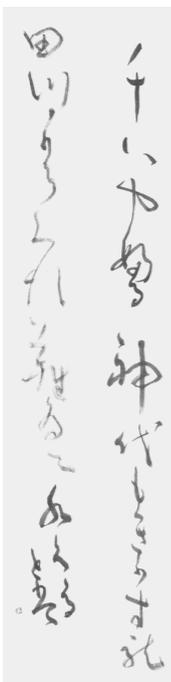
素朴な良さが魅力。

増田瞳子



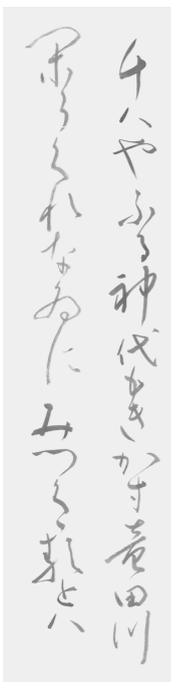
生真面目に丁寧に書けている。

細川梨舟



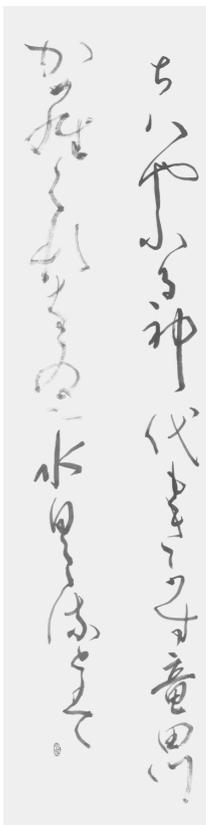
軽快に書けているが、上部が伸びた感がある。

種村みや子

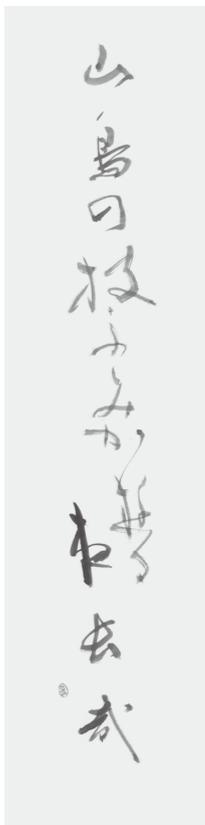


流れよく大らかな作。落款要。

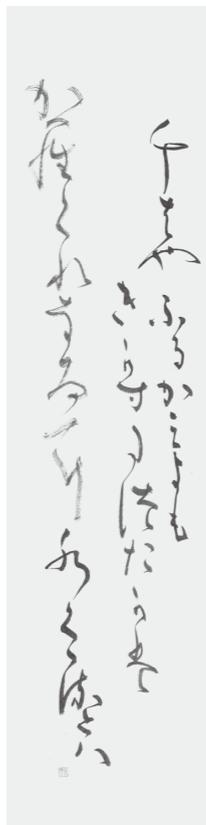
浅尾雅子



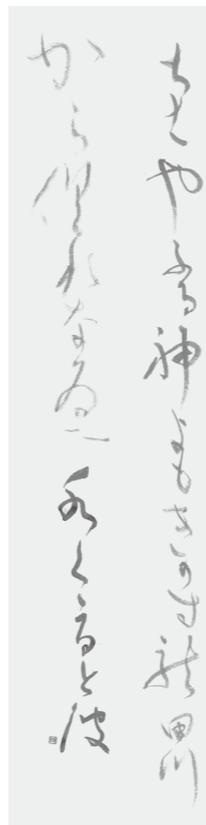
八木清子



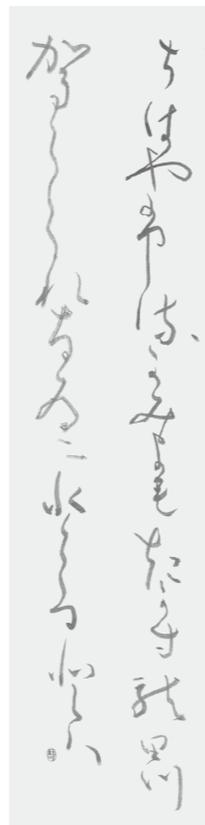
山路香溪



安積瑞泉



森川珠房



谷野紅璋



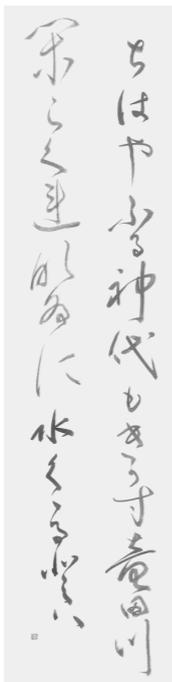
引き締まった線と渴筆の妙。

河合映香



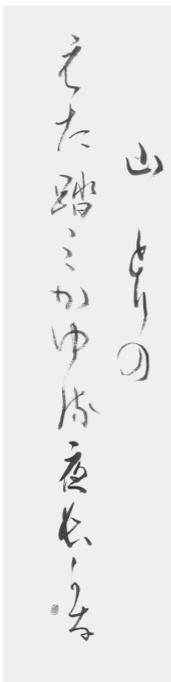
濃墨で大胆な作風に存在感あり。

永木美由紀



懐の深い明るい作。

佐々木有香



収め方を心得ていて流れよし。

伊藤進



達者な書きぶりで素晴らしい。

大嶋優子

かな部

長谷川 露香

天真爛漫な作品、繊細な作品と様々です。師の御手本のある人、自身で草稿に四苦八苦して頑張っておられる人、どちらにせよ自分にしか出せない個性を磨き上げてほしいと願っています。

かな作品は、変体がなを自由に使える難しさ、面白さが有ります。それが、かなの魅力だと思います。「継続は力なり」です。私も無作為の中の作為を目指して日々精進したいものです。

かな部 条幅課題

A 白雪のふりしく時はみよしの

山した風に花ぞちりける (紀貫之)

白雪の降りしきる時は、吉野山の吹きおろす風に、雪の花が盛んに散って来ることだ。

B 初日さす硯の海に波もなし

(正岡子規)

硯にたつぷりと墨をすって、書初めをしようとしたのであろう。たつぷりとすった墨にさす初日に、おだやかな正月の雰囲気があふれている。

(しめきり……一月十七日)

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に段位、氏名を忘れず記入のこと。

※出品資格…五段以上。A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

(選評)

師範・準師範の部

清子君 自然な表現で無理のない構成。

香溪君 大胆で墨つぎがきいている。

瑞泉君 三行を上手にまとめた。

珠房君 温雅でやさしい作。

紅璋君 素直で和やかな作。墨の変化を望む。